

○今後の取り組みとして○



イラスト：(株) アークデザイン研究所

今後は、調査結果や課題を踏まえながら①各地区住民、関係者、関係機関等との意見交換、②地域公共交通網への意識づくり、③新たな公共交通体系の試験運行、に向けて田野町地域公共交通会議で協議を行い、具体的な検討を進めていきます。

町として、町民の皆様や関係者の方々のご意見を基に、地域に即した新たな公共交通網の早期実現に向けて取り組んでまいります。そのために関係者、関係機関の皆様方と十分に協議するとともに合意形成を図りたいと考えております。

町民の皆様のご生活を維持し、まちづくりと連動した持続可能な地域づくりに向けて、財政面や地域の実情にも配慮しながら整備を行なってまいります。

町民の皆様には、本事業に対しましてご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



本事業に関するお問い合わせ先

田野町役場 保健福祉課 公共交通担当：西尾 電話：0887-38-2812



田野町地域公共交通網整備事業

～まちづくりと連動した公共交通網の構築に向けて～



地方の過疎地域は、公共交通網が脆弱であり、自家用車での移動が主流となっているのが現状です。田野町もその例外ではなく、自家用車に依存している状況ではありますが、高齢になり運転が困難となっても、ご家族やご近所で助け合いながら、なんとか最低限の移動手段は確保されておりました。

しかしながら、近年では、核家族化の進行等により移動に困る住民が増加してきており、このままでは、日常生活維持に支障がでてくるのが懸念されています。

そのような地域の実情を踏まえ、新たな公共交通網の整備

について具体的に検討を進めているところです。本事業では、移動手段に困っている方だけでなく、通院、通学、そして観光等、多目的に利用できる新たな公共交通網を整備し、活気あるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

昨年から新たな移動手段の確保に向けて、町民の移動手段について現状把握や分析、調査等を実施いたしました。本事業の取組や調査結果等を概要版として町民の皆様にお知らせいたします。

○田野町地域公共交通検討会○

■目的■

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の促進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。

■主な協議事項■

- ①地域公共交通の現状把握及び課題抽出
- ②住民ニーズ調査及びその分析
- ③地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様 等

■主な構成委員■

町、県、国、地域住民、町内関係機関、交通事業者、道路管理者、地方運輸局 等

■調査・分析・支援■ 高知工科大学

平成27年12月 **設立**

- ①田野町の現況把握及び整理
- ②交通の現況確認
- ③住民移動ニーズ調査の実施
- ④関係者（移動制約者、交通事業者、主要施設）意見交換会

平成28年 1月 **住民移動ニーズ調査 実施**

平成28年 2月 **意見交換会の実施**

- ①移動制約者と意見交換を実施（町内関係団体等10箇所）
- ②主要施設と意見交換を実施（町内5箇所）
- ③交通事業者と意見交換を実施

平成28年 3月 **田野町地域公共交通住民ニーズ調査報告書 作成**

- ①現況整理
 - ・田野町の現況
 - ・交通の現況
 - ・住民の移動ニーズ（結果一覧）
 - ・関係者の意向
- ②現状整理・課題抽出



※報告書については、保健福祉課で閲覧できます！！

移行

○田野町地域公共交通会議○

■目的■

道路運送法の規定に基づき、具体的に地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の促進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項等を協議する。

■主な協議事項■

- ①地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の検討（運行形態・路線・ダイヤ等）
- ②交通計画の作成・変更 等

■主な構成委員■

町、県、国、地域住民、町内関係機関、交通事業者、道路管理者、地方運輸局 等

平成28年 5月 **第1回 開催**

●主な内容●

- ①講演 「地域公共交通の活性化に向けて」
講師：国土交通省 四国運輸局 交通政策部 交通企画課 課長 藤本 実紗 氏
- ②田野町地域公共交通住民ニーズ調査結果の確認
- ③今後の取組事項の整理・確認

○住民移動ニーズ調査○

①調査方法

- ・アンケート調査票に主旨説明書を添えて郵送法により実施。

②対象者

- ・平成27年12月末時点における町内全ての世帯主(1,335人)

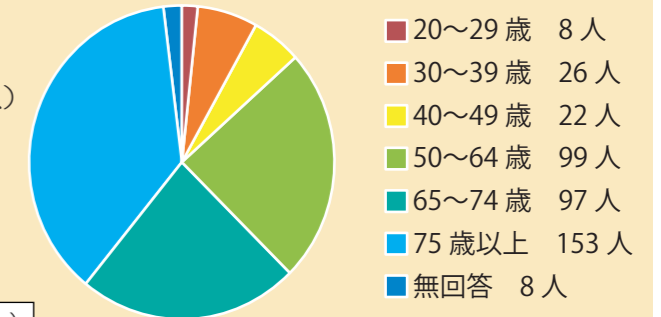
③実施スケジュール

- ・1月21日 順次各世帯へと発送
- ・2月 8日 返送め切（2月12日まで有効回収）

④回収率

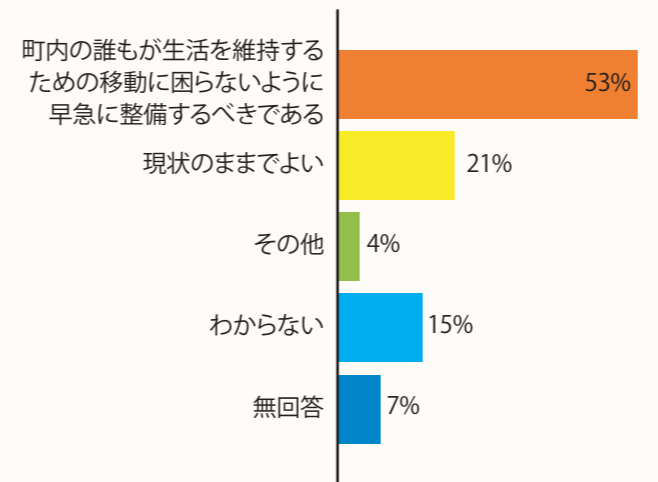
| | | | | |
|-----|-------|---------|---------|---------|
| 回収数 | 413通 | 男(237人) | 女(167人) | 無回答(9人) |
| 回収率 | 31.2% | 57% | 41% | 2% |

回答者の年代

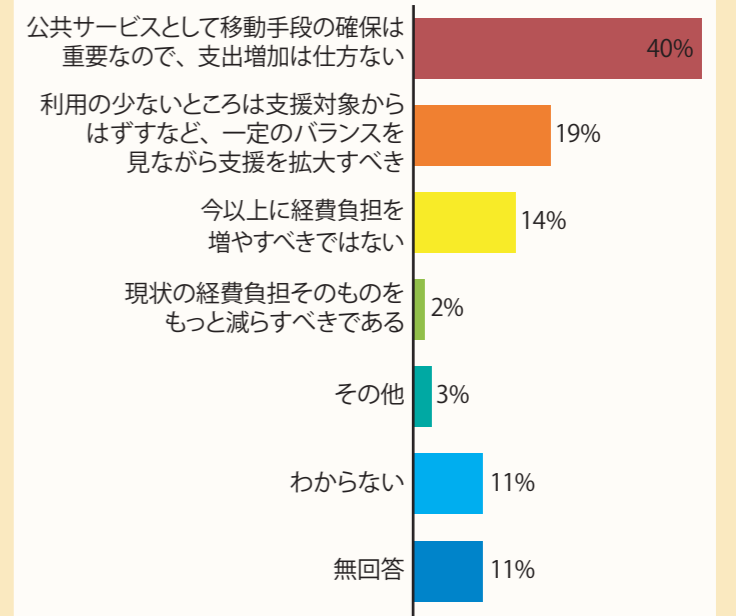


○送付数：1,335通（後、14通が宛所不明として返送） ○実送付数：1,321通

Q. 田野町は、小さな町域であるものの、高台等では路線バスや鉄道等の公共交通を利用しやすい状況にはなく、特に自家用車等を持たない高齢者等の外出支援が今後の課題になると考えられます。このことについてあなたのお考えとして当てはまるものひとつだけに○をつけてください。



Q. 地域の公共交通が便利になると、その反面、町が支出する経費が増大することも考えられます。このことについてどのように思われますか。当てはまるものひとつだけに○をつけてください。



○調査結果○

過半数以上(53%)の方から、町内の誰もが生活を維持するための移動に困らないように地域公共交通整備を行なって欲しいという回答がありました。一方で、21%の方が、現状のままでよいと回答がありました。

○主な課題○（現状把握、分析、各種調査から）

- ①公共交通空白地区の解消
- ②鉄道や既存の路線バスと連携した公共交通ネットワーク構築
- ③公共交通ネットワークを持続させる取り組み
- ④乗り換えが安全にできる拠点整備
- ⑤地域全体で公共交通を育む意識づくり
- ⑥生活を豊かにするための移動手段
- ⑦広域的視点からの公共交通網再編の可能性